

国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・ インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型

追加型投信／内外／資産複合

第27期末（2018年12月27日）	
基準価額	9,325円
純資産総額	329百万円
第26期～第27期	
騰落率 （上昇率・下落率）	-1.5%
分配金合計（*）	0円

（*）各期の分配金を合計したものです。

第26期（決算日：2018年9月27日）

第27期（決算日：2018年12月27日）

作成対象期間

（2018年6月28日～2018年12月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、主として世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行い、「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用し、信託財産の成長を目指して運用することを目的としています。なお、原則として対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法＞

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

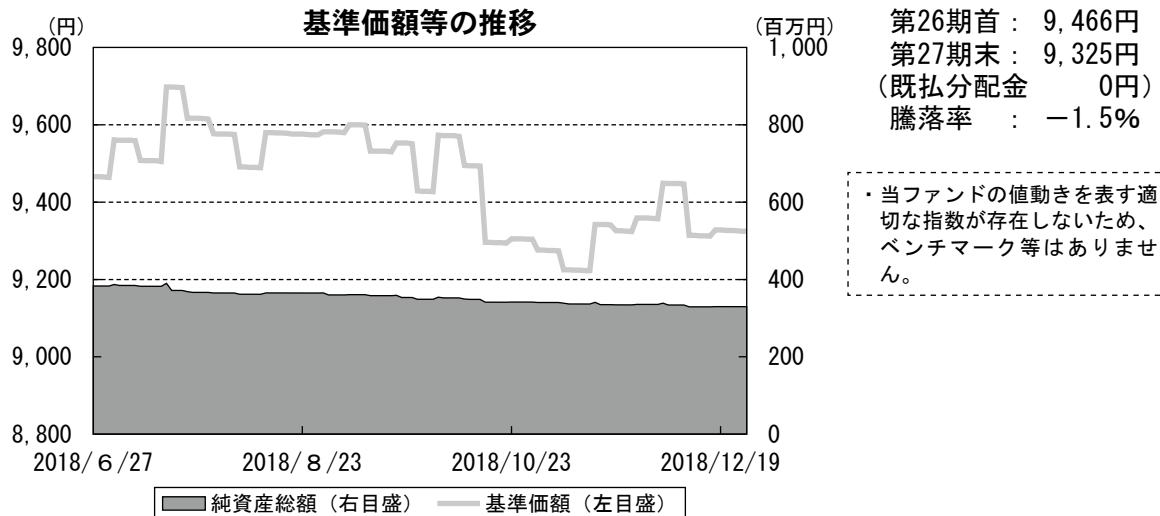
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第26期～第27期: 2018/6/28～2018/12/27)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.5%の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

下落要因

非鉄金属市場や株式市場の変動などがマイナスに影響しました。

1 万口当たりの費用明細

（2018年6月28日～2018年12月27日）

i 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	第26期～第27期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	58円	0.613%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(26)	(0.271)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(31)	(0.325)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.005	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	59	0.618	
作成期中の平均基準価額は、9,458円です。			

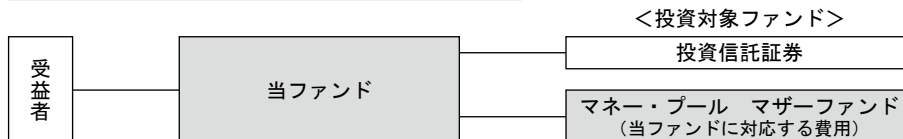
(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

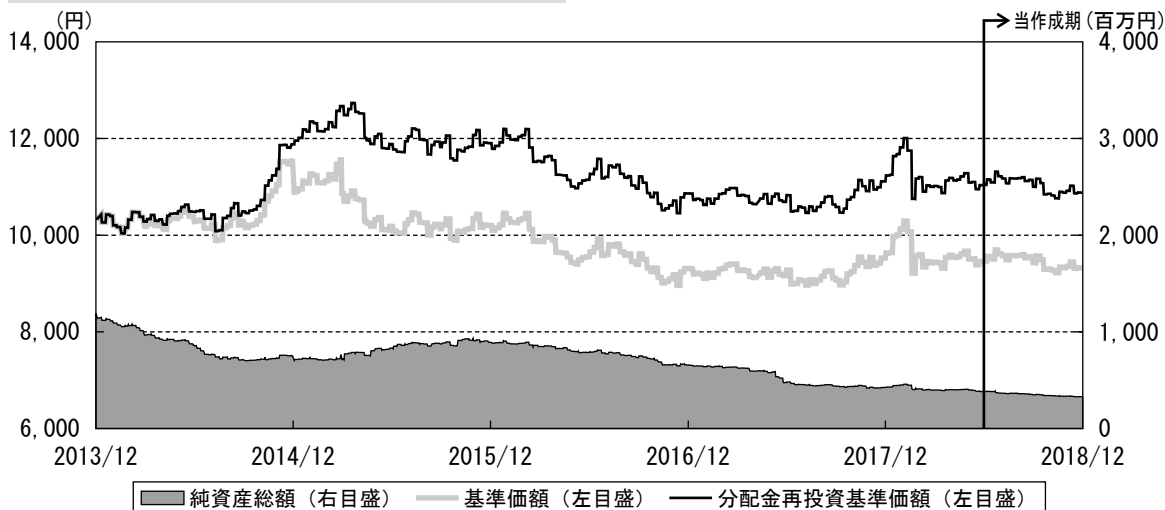
【費用開示の仕組み】

下記 部分の費用が費用明細に含まれています。



最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年12月27日～2018年12月27日)



・分配金再投資基準価額は、2013年12月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/12/27 期初	2014/12/29 決算日	2015/12/28 決算日	2016/12/27 決算日	2017/12/27 決算日	2018/12/27 決算日
基準価額 (円)	10,344	10,838	10,202	9,309	9,524	9,325
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,000	700	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	14.9%	0.2%	-8.8%	2.3%	-2.1%
純資産総額 (百万円)	1,189	704	891	657	424	329

・ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

（第26期～第27期：2018/6/28～2018/12/27）

◎株式市況

- ・米国の株式市場は好調な企業決算などから上昇する局面があったものの、トランプ米大統領による保護主義的な通商政策や米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースの加速に対する懸念などから下落しました。日本や欧州の株式市場も下落しました。新興国の株式市場も下落しました。

◎債券市況

- ・米国の債券利回りはFRBによる利上げペースの加速に対する懸念などから上昇する局面があったものの、その後の株式市場の下落などから低下し、当作成期首とほぼ変わらない水準となりました。欧州や日本でも金利が上昇する局面があったものの、その後は低下し、当作成期首とほぼ変わらない水準となりました。新興国の債券利回りは概ね上昇しました。

◎商品市況

- ・原油価格は、石油輸出国機構（OPEC）の加盟国や米国の供給増加などから下落しました。金価格も下落しました。

◎為替市況

- ・円は米ドル、ユーロ、豪ドルなどに対して下落しました。ユーロは米ドルに対して下落しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.07%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。当作成期首から2018年9月にかけてはマイナス0.15%程度で推移していたものの、10月に短期国債の需給引き締めなどからマイナス0.33%程度まで低下しました。その後金利は上下を繰り返し、足下はマイナス0.16%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型>

- ・当ファンドは、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。
- ・当作成期末においては、Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）を95.0%、マネー・プール マザーファンドを少額組み入れています。
- ・その結果、基準価額は当作成期首に比べ下落しました。

<Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）>

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱U F J国際投信が作成したものです。）

- ・Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」）の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。なお、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。
- ・前記のような運用の結果、非鉄金属市場や株式市場の変動などがマイナスに影響し、基準価額の下落要因となりました。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・わが国のコール・ローンおよびC P 現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は当作成期首と比べて下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第26期	第27期
	2018年6月28日～2018年9月27日	2018年9月28日～2018年12月27日
当期分配金	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	826	826

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

<国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プールマザーファンド受益証券への投資も行います。

<Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有) >

◎今後の運用方針

(当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n d の資料を基に、三菱U F J 国際投信が作成したものです。)

- ・Q T X W C M G D P F u n d では実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。なお、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

マネージド・フューチャーズ戦略

- ・主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること(トレンド・フォロー戦略)によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション(買い持ち)及びショート・ポジション(売り持ち)の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

株式運用戦略

- ・世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション(買い持ち)又はショート・ポジション(売り持ち)を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債(国庫短期証券)現先取引、コール・ローンおよびC P 現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

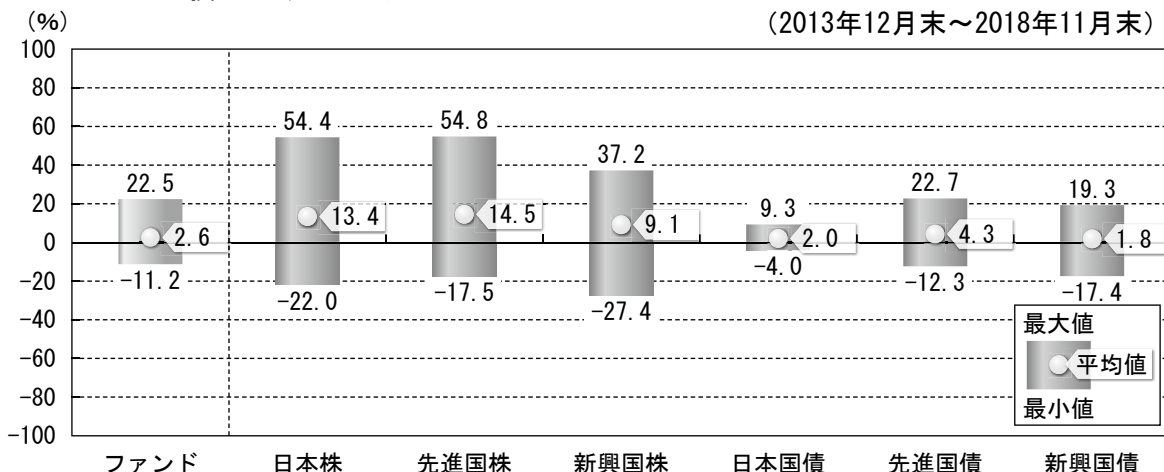
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2022年12月27日まで（2012年4月10日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有））、マネー・プールマザーファンド受益証券
	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）	世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ・ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。 ・当該外国投資法人において、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
分配方針	毎年3、6、9、12月の27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年12月から2018年11月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

日本株 : TOPIX (配当込み)

先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

日本国債 : NOMURA-BPI (国債)

先進国債 : FTSE世界国債インデックス (除く日本)

新興国債 : JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年12月27日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第27期末 2018年12月27日
<input checked="" type="checkbox"/> QTX WCM GDP Fund (日本円建て、ヘッジ有)	95.0%
<input checked="" type="checkbox"/> マネー・プール マザーファンド	0.0%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

上記 の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

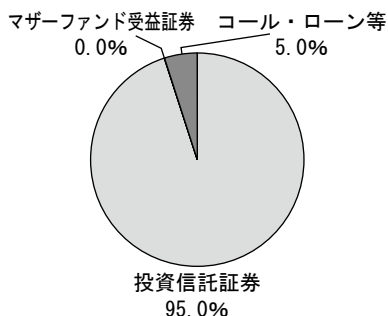
純資産等

項目	第26期末	第27期末
	2018年9月27日	2018年12月27日
純資産総額	348,818,538円	329,628,975円
受益権口数	369,962,892口	353,488,592口
1万口当たり基準価額	9,428円	9,325円

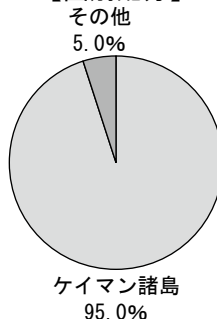
・当作成期間中（第26期～第27期）において
追加設定元本は 0円
同解約元本は51,271,964円です。

種別構成等

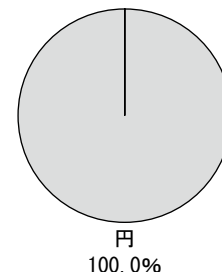
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



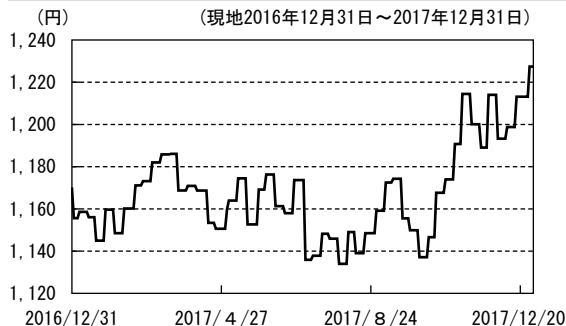
- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

Q T X W C M G D P F u n d
 （日本円建て、ヘッジ有）

（現地2017年12月31日現在）

基準価額の推移



・上記には、分配金が含まれていません。

Q T X W C M G D P F u n d 全体

組入上位10銘柄

（ポジション数：1,214）

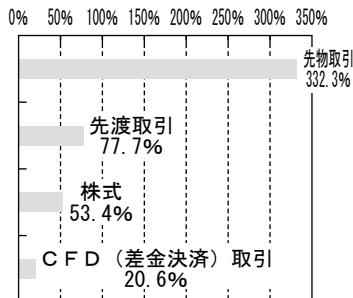
	銘柄名	比率
1	E Mini S&P	37.4%
2	Bunds	11.4%
3	10 Year Notes	10.7%
4	JGBT	10.6%
5	Copper	9.6%
6	2 Year Notes	-9.9%
7	Swiss Franc	-11.1%
8	Russell 2000 Mini (CME)	-12.8%
9	Eurodollar	-18.3%
10	Japanese Yen	-34.3%

・ポジション数とは銘柄毎の持ち高の種類数をいいます。
 ・比率はQ T X W C M G D P F u n d の純資産総額に対する割合であり、Q T X W C M G D P T R A D I N G の組入比率に基づき算出した実質ベースの数値で表記しています。

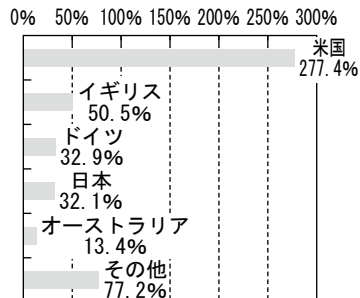
基準価額以外の開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、「Q T X W C M G D P F u n d 全体」ベースで表示しています。

種別構成等

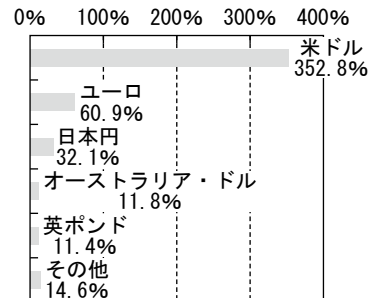
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はQ T X W C M G D P F u n dの純資産総額に対する割合であり、Q T X W C M G D P T R A D I N Gの組入比率に基づき算出した実質ベースの数値で表記しています。
- ・資産別・国別・通貨別配分は、今回からネット・エクスポージャーからグロス・エクスポージャーの表示となっています。
- ・国別・通貨別配分は、グロス・エクスポージャーの上位5項目で表示しており、それ以外の項目は「その他」に分類しています。
- ・Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）において、為替ヘッジを行っており、実質的な通貨はおおむね円となっています。

※当該ファンドの投資顧問会社であるウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドからの情報に基づき掲載しています。

1万口当たりの費用明細

（現地2017年1月1日～2017年12月31日）

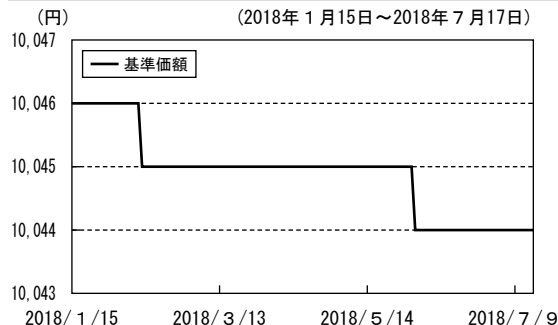
1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

組入上位ファンドの概要

マネー・プール マザーファンド

(2018年7月17日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

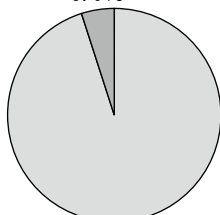
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	アミカス・ファンディング 180718	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	95.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、その他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

【資産別配分】

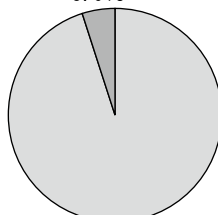
コール・ローン等
5.0%



その他有価証券
95.0%

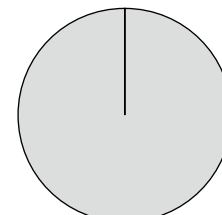
【国別配分】

その他
5.0%



日本
95.0%

【通貨別配分】



円
100.0%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

(2018年1月16日～2018年7月17日)

該当事項はございません。

154024

ウイントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下、「当社」といいます。）は、本資料の内容の正確性や完全性、本資料における表明、あるいは国際オルタナティブ戦略 Q T Xーウイントン・アルファ・インベストメント・オープンの各ファンドのパフォーマンスについて、いかなる責任も負いません。当社は、本資料に依拠することによって投資者の皆様や第三者が被る直接的、間接的、派生的又はその他の損害、損失、利益の減少について、いかなる責任を負うこともありません。当社は、各ファンドのマーケティング、販売、売買について責任を負うことも関与することもなければ、マーケティングや広告に関する諸法令の遵守に責任を負うこともなく、さらに、このようなマーケティング、販売、売買に関連する当社の商品やサービスについて、意見を述べることを許された第三者もおりません。当社のアドバイスを受けた他のファンドの過去のパフォーマンスは、各ファンドの将来のパフォーマンスを示すものではありません。

指数に関して

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信